

## 2025年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月2日

上場会社名 シンポ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5903 URL <https://shinpo.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 紀彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 田口 茂樹 TEL 052-776-2231  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：無  
 決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

### 1. 2025年6月期第3四半期の連結業績（2024年7月1日～2025年3月31日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期第3四半期	5,617	1.9	785	△5.5	794	△5.0	480	△11.1
2024年6月期第3四半期	5,514	13.3	831	7.2	836	5.9	540	△0.1

（注）包括利益 2025年6月期第3四半期 461百万円（△26.6％） 2024年6月期第3四半期 629百万円（10.2％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年6月期第3四半期	86.12	—
2024年6月期第3四半期	95.47	—

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年6月期第3四半期	8,990	6,799	75.6
2024年6月期	8,295	6,786	81.8

（参考）自己資本 2025年6月期第3四半期 6,799百万円 2024年6月期 6,786百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年6月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2025年6月期	—	0.00	—		
2025年6月期（予想）				40.00	40.00

（注）直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年6月期の連結業績予想（2024年7月1日～2025年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	4.0	1,200	18.2	1,212	18.5	816	23.4	144.17

（注）直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年6月期3Q	6,140,850株	2024年6月期	6,140,850株
② 期末自己株式数	2025年6月期3Q	640,198株	2024年6月期	475,298株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年6月期3Q	5,578,288株	2024年6月期3Q	5,661,426株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(会計方針の変更に関する注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の回復などにより緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の関税引き上げによる世界経済の減速懸念、長期化するロシア・ウクライナ情勢や中東情勢、中国経済の持ち直しの遅れなど景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要マーケットである焼肉業界におきましては、インバウンド需要の増大による追い風はあるものの、2025年1～3月の客数が前年同期を下回ったことに加え、円安と物価高による輸入牛肉や野菜などの仕入価格の高騰、人手不足による人件費の上昇などが経営を直撃しており、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、国内におきましては焼肉業界の厳しい経営状況を受け、核となる製品販売が前年同期比で減収となりましたが、内装工事や空調工事などの付帯工事においても積極的に営業展開を行った結果受注が堅調に推移し、その他内装工事売上が前年同期比で増収となりました。

また、既存店を中心とするダクト清掃やアミ洗浄サービスなどのアフターサービスにつきましても『ワンストップサービス』として繁盛店に積極的な営業展開を行い、特にアミ洗浄サービスの受注が堅調に推移しました。このアミ洗浄サービスにつきましても、準備を進めてまいりました名古屋アミ洗浄工場が当4月に本格稼働し洗浄能力が大幅にアップいたします。これによりサービス提供能力が大きく向上することからアミ洗浄サービスの大幅な受注増加を目指してまいります。

海外マーケットにおきましては、主要顧客となる飲食業界は、経済の低迷が続く中国市場において消費が伸び悩んでいるものの、それ以外の地域、特に北米や香港、台湾などのアジア地域において需要は堅調に推移しました。

このような状況下で当社グループは、2025年6月期から2029年6月期を対象とする中期経営計画に掲げた重点戦略ポイントである海外マーケット攻略目標達成に向け、需要が堅調な香港、台湾やアメリカに加えカナダ、タイ、フィリピンなどに対しても積極的に営業展開を行った結果、特に北米やアジア向けの製品売上が増収となりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高5,617百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益785百万円(前年同期比5.5%減)、経常利益794百万円(前年同期比5.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は480百万円(前年同期比11.1%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ695百万円増加し8,990百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が680百万円減少したものの、名古屋アミ洗浄工場の建設に伴う建設仮勘定の計上等によりその他有形固定資産が1,404百万円増加したことなどによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ682百万円増加し2,191百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少91百万円などがあったものの、買掛金が80百万円増加、賞与引当金が56百万円増加、その他流動資産が154百万円増加、長期借入金が428百万円増加したことなどによるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ12百万円増加し6,799百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当226百万円、自己株式の取得222百万円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益480百万円の計上などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年8月2日の「2024年6月期 決算短信[日本基準](連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,333,217	2,652,625
受取手形及び売掛金	663,197	664,245
電子記録債権	71,938	45,663
商品及び製品	66,248	54,981
仕掛品	184,692	146,496
原材料及び貯蔵品	458,970	424,630
その他	43,078	29,444
貸倒引当金	△68	△139
流動資産合計	4,821,274	4,017,947
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,091,346	1,057,199
土地	1,482,891	1,637,503
その他(純額)	342,021	1,746,150
有形固定資産合計	2,916,260	4,440,852
無形固定資産	4,079	15,862
投資その他の資産		
投資有価証券	442,811	409,756
その他	116,202	111,711
貸倒引当金	△5,099	△5,383
投資その他の資産合計	553,914	516,084
固定資産合計	3,474,254	4,972,799
資産合計	8,295,528	8,990,746

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	91,862	172,182
短期借入金	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	50,000	76,424
未払法人税等	189,953	98,868
賞与引当金	—	56,211
役員賞与引当金	14,830	13,500
その他	830,420	985,159
流動負債合計	1,197,066	1,422,345
固定負債		
長期借入金	—	428,576
役員退職慰労引当金	54,817	59,905
退職給付に係る負債	162,285	173,573
その他	94,455	106,847
固定負債合計	311,558	768,902
負債合計	1,508,624	2,191,247
純資産の部		
株主資本		
資本金	639,307	639,307
資本剰余金	600,587	600,587
利益剰余金	5,413,218	5,666,979
自己株式	△186,225	△409,005
株主資本合計	6,466,887	6,497,868
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	270,649	246,831
為替換算調整勘定	49,366	54,799
その他の包括利益累計額合計	320,016	301,631
純資産合計	6,786,904	6,799,499
負債純資産合計	8,295,528	8,990,746

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
売上高	5,514,649	5,617,974
売上原価	3,495,685	3,612,629
売上総利益	2,018,963	2,005,344
販売費及び一般管理費	1,187,805	1,220,130
営業利益	831,158	785,214
営業外収益		
受取利息	88	229
受取配当金	4,029	4,712
受取賃貸料	4,611	4,283
補助金収入	1,693	—
受取保険金	10,000	—
その他	3,129	3,342
営業外収益合計	23,553	12,567
営業外費用		
支払利息	202	649
不動産賃貸費用	2,265	2,411
為替差損	1,031	204
支払解決金	15,000	—
その他	10	399
営業外費用合計	18,510	3,665
経常利益	836,201	794,116
特別利益		
固定資産売却益	—	50
特別利益合計	—	50
特別損失		
固定資産除却損	14,794	4,036
解体撤去費用	—	19,900
リコール関連損失	—	28,976
特別損失合計	14,794	52,912
税金等調整前四半期純利益	821,406	741,253
法人税等	280,917	260,870
四半期純利益	540,489	480,382
親会社株主に帰属する四半期純利益	540,489	480,382

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	540,489	480,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,755	△23,818
為替換算調整勘定	4,467	5,433
その他の包括利益合計	89,222	△18,385
四半期包括利益	629,711	461,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	629,711	461,997
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)

当社グループは、無煙ロースターの製造販売及びその附帯工事を内容とした事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)

当社グループは、無煙ロースターの製造販売及びその附帯工事を内容とした事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年7月1日 至 2024年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	93,819千円	86,786千円